



評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋建築環境性能評価制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中央コンサルタンツ新社屋	階数	地上11階、地下1階
建設地	名古屋市中区丸の内三丁目2201番1、2202番2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年4月3日
敷地面積	1,292 m ²	作成者	
建築面積	761 m ²	確認日	2020年4月3日
延床面積	7,713 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE1.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★ 環境品質 G 環境負荷 L	★☆☆☆ 60%: ★☆☆☆ 80%: ★☆☆ 100%: ★★ 100%超: ☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.7	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.1
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	柔軟性のある執務空間の確保と、フロア間の人の流れや出会いを生み出す新しいオフィスを目指し計画。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
換気窓を十分に設け通風の確保に配慮。	・十分な執務スペースかつ様々なレイアウト・部門構成に対応しやすい整形な無柱空間を計画。 ・床は全面OAフローを採用し自由なIT配線に対応。	敷地北側・西側に緑地を計画。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
西日を遮る縦型ルーバーを設け空調負荷を低減。	節水型機器を採用し、節水に配慮。	敷地内に適正な量の車路、駐車スペースを確保し交通負荷の抑制に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

中央コンサルタンツ新社屋

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.3
LR1	エネルギー	3.4	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.5	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.7
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.3



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.7



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。